

別記

第1号様式(第14条関係)

環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 府 知 事		H31年 7月 30日
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都市下京区塩小路通西洞院東入東塩小路町841番地の5		氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 医療法人財団康生会 理事長 武田 隆司
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	武田病院グループ環境マネジメントシステム	
適 用 範 囲	武田病院グループ	
導 入 年 月 日	1997年 12月 18日	
認 証 番 号		
基 本 方 針	武田病院グループは、地球環境の保全を保健・医療・福祉・介護及び関連活動の中で常に考慮し、地球にやさしい、心がかよう、心が安らぐ豊かな社会環境の実現に貢献します。また、関連する環境の法規・法令を遵守するとともに関連団体における環境理念等を尊重し、組織的継続的な改善と汚染予防を推進します。	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	職員、関係者の定期的な環境教育・訓練を中心に活動を浸透させ、省エネルギー推進委員会を中心に省エネルギー教育、定期的なエネルギー消費量の確認を基に活動を推進し、将来的にエネルギーは再生可能なエネルギーの利用も視野に入れる。材料委員会、廃棄物処理管理委員会を中心に物品購入時の省資源活動と共に廃棄物の排出は4Rを推進し、ゼロエミッションを目指す。環境広報は機関紙をはじめ、デジタルサイネージやホームページ等で積極的に行う。	
目標を達成するための取組の内容	グループ全体で環境負荷の高いEOG、笑気ガスの削減、フロン(22)使用機器の計画的な取替え、環境活動として広域清掃への参加等地域連携も行っている。省エネルギー推進委員会にエネルギー管理士を配置し、省エネ活動を推進している。また、エネルギー管理専門家の派遣利用や国の省エネ事業を利用した高効率機器の導入等によりエネルギー利用の高効率化を図っている。物品購入時は環境購入を優先させ省資源活動と共に廃棄物の排出は計量と共に4Rを推進している。定期的な広報誌、ホームページ、掲示板等により環境活動を報告している。	
目標を達成するための取組の進捗状況	グループ内での計画的な省エネ機器の導入、フロンR22機器の撤廃、LED照明によるCO2削減、DMコントローラによる最大電力の抑制、人感センサーを利用した照明の制御、ライトダウンへの参加、BEMSによるエネルギー使用の評価、エネルギー管理専門家による省エネ提案の実施、エネルギー推進委員会での節電対策を実施している。	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	職員の環境教育はもう少し積極的に推進する必要がある。主病院でのLED照明の導入はほぼ完了し、老朽化設備の取替えも順次進めている。DMコントローラの設置も完了、補助事業による熱源機器の更新、現在、BEMSデータの見直しを中心に省エネを推進している。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	環境法規管理規定と環境法規管理要領書・環境法規管理チェック表、機器管理表に基づいて管理を行っており、特に問題はない。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	法規の改訂、組織変更によるマニュアル、規定の改定、見直しを定期的実施した、職員全体に対してはデジタルサイネージを利用した環境報告を実施している。地下浸水、地震災害、防災・危機管理への設備導入、非常用発電機の管理方法の改善等、取り組みは少しずつ前進している。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。